

NEWS RELEASE

建築フローの生産性を向上 換気扇データを BIM とイズミシステム設計の機器選定ソフトに提供開始

三菱電機株式会社は、建設業界で導入が加速する BIM^{※1} (Building Information Modeling) に対応する BIM メーカーオブジェクト^{※2}として、従来のエアコンなどの空調機器に加えて換気扇データを8月から順次公開します。また、建築・設備設計者向け各種ソフトウェアの開発・販売を行う株式会社イズミシステム設計(以下、イズミシステム設計)に当社換気扇データを提供し、同社の空調・換気機器選定ソフトウェアの対応機器拡充に対応します。これにより、当社空調・換気機器の BIM での活用と機器選定の利便性を向上し、建築フロー^{※1}における生産性向上に貢献します。

※1: **Building Information Modeling** の略称。建物に使用される部材や設備の材質・サイズなどの属性情報を追加したコンピューター上の3D建造物モデルを用いる設計方法。設計会社・施工会社、管理会社などの関係者間で企画、設計、施工、維持管理などの建築業務の一連の工程(建築フロー)にて建物の設計情報の共有が容易となり、業務の効率化が可能

※2: BIM 向けに、メーカーが作成・提供する設備・機器の3Dの形状情報と、設備・機器の仕様などの属性情報を統合したもの

取り組みの概要

1. BIM メーカーオブジェクトに換気扇データを追加し、建築フローの生産性を向上

- ・従来提供していたエアコンなどの空調機器に加え、BIM メーカーオブジェクトに換気扇データを追加
- ・建物の設計、施工、維持管理の工程において、換気扇の3D形状や寸法などの製品仕様を容易に参照することができ、空調機器と換気扇を組み合わせた設計を効率化

2. イズミシステム設計のソフトウェアに換気扇データを追加し、機器選定を容易化

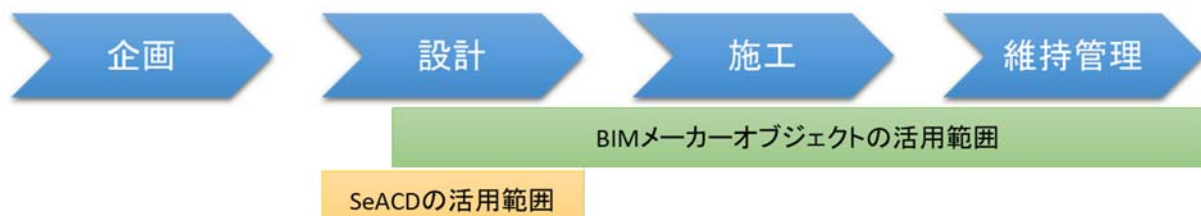
- ・イズミシステム設計の空調・換気機器の選定を支援するソフトウェア「SeACD(シークド)」に、従来提供していたエアコンなどの空調機器に加え、換気扇データを追加
- ・「SeACD」にて設備機器のカタログデータを参照し、空調・換気機器の選定が容易

取り組みの背景

建設業界では人手不足解消のため、建築フロー全体の生産性向上が求められており、BIM と設計支援ソフトウェアの活用が進められています。従来の2D図面では、配管の位置を3Dで表現できないことなどから、設計者の意図が施工者に正しく伝わらないことがありました。その結果、建設現場で多くの調整作業が発生し生産性悪化の要因となっていました。

BIM を活用することで、設計者と施工者が3Dで設計・施工を検討できることに加え、設計・施工の各工程で追加された設備機器の情報を建築フローの全工程で利用可能となり、設計者や施工者の意思疎通が円滑に図れ、建築フローでの生産性が向上します。

<建築フロー>



今後の展開

当社は、イズミシステム設計と展示会で共同出展するなど宣伝・販促活動でも連携していきます。また、当社は空調・換気機器の BIM メーカーオブジェクトのさらなる拡充を図るとともに、建築フローにおける各種ソフトウェアを提供する企業との連携を強化することにより、建築フローの生産性向上に貢献していきます。

イズミシステム設計の概要

会社名	株式会社イズミシステム設計
代表者	小池 康仁
本社所在地	東京都新宿区揚場町 1-21
設立	1973 年
主な事業内容	建築・設備関連パッケージソフトウェア開発および販売

商標関連

SeACD は株式会社イズミシステム設計の商標です。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社

空調冷熱システム事業部 空調冷熱計画部 TEL 03-3218-3117

電材住設スマート事業部 電材住設スマート計画部 TEL 03-3218-6061

関連 WEB サイト：

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/ldg/ja/air/guide/solution/bim/index.html>